



第32号

平成20年10月2日発行
千葉県漁業士会銚子支部
＜事務局＞
千葉県銚子水産事務所 改良普及課

銚子 第14回きんめだいまつり

平成20年7月26日(土)に銚子マリーナ特設会場で、第14回きんめだいまつりが開催されました。昨年は、悪天候での開催となってしまいましたが、今年は梅雨明け後の好天に恵まれ、会場は朝から大勢の人で賑わいました。

このお祭りは、外川のキンメダイ漁業者が中心となり、資源管理の取り組みや「銚子つりきんめ」の美味しさを広く知ってもらうために、毎年開催している漁業者手作りのイベントです。

来場者の一番の目的は、やっぱり「銚子つりきんめ」の格安販売です。4千尾もの銚子つりきんめは、閉幕を待たずに売り切れとなりました。また、女性部によるキンメ料理試食・販売も、作るのが間に合わないほどの大盛況でした。

これだけ大きなお祭りを毎年継続している外川の漁師さん達のパワーに驚かされます。今後もさらに発展していくことを期待しています。



銚子 資源保護への取り組み

銚子市漁業協同組合の小型底曳船長会では、平成9年から幼稚魚が逃げやすく、さらに漁獲物に傷の付きにくい仕組みの選択制漁具を導入し、底曳網漁業が資源に与える影響を減らす取り組みを行っています。

現在、独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所とともに、より資源に与える影響の少ない漁具の開発に取り組んでおり、平成20年8月25日と28日に水産工学研究所と共に試験操業を行いました。

いつもは舵を握っている船長さん達もこの日は魚の分別や計測のお手伝いをするなど、いまではあまり行わない網仕事に大忙しでした。

今後も、底曳網の漁業者全員で力を合わせ、大切な未来の資源である幼稚魚の保護活動に取り組んでいくとのことです。



全域 ヒラメ放流・マダイ中間育成

ヒラメの種苗放流とマダイの中間育成が今年も7月から8月にかけて管内各地で行われました。

一部で給餌機の故障などもありましたが、今年は天候にも恵まれて、漁業者の皆さんの努力もあり、マダイの生育は順調でした。9月3日に銚子市漁業協同組合外川地区で行われたマダイの放流をもって管内すべての放流を無事終わることができました。



銚子 いきいきフォーラム

平成20年8月5日に男女共同参画を目的とした「平成20年度農山漁村いきいきフォーラム in 海匠」が東総文化会館の小ホールで行われました。

農林水産それぞれの事例発表と、数多くのお笑いタレントを擁する吉本興業に所属し元農家の辻イト子氏による講演が行われ、水産からは銚子市漁業協同組合女性部の山口貴子氏が「浜の母ちゃんの日と女性部活動」という題で発表を行いました。

会場の9割を占める農家のお母さん達も普段聞く機会のあまりない漁業の話に興味深く耳を傾けていました。

銚子市漁業協同組合女性部からも伊東女性漁業士がお手伝いとして、他にも多くの方が応援に集まり、慣れないステージの上で一生懸命発表を行う山口氏に声援を送っていました。



ご意見やご感想、情報提供などありましたら、
千葉県銚子水産事務所 改良普及課までご連絡ください。
連絡先：電話 0479-22-8397 (代)
FAX 0479-22-9168